

新年を迎えて

農林水産省消費・安全局 農産安全管理課農薬対策室長 ^{てら} ^だ ^{ひろ} ^{みき}
寺 田 博 幹

平成 22 年を迎え、皆様に新年のお慶びを申し上げます。年始に当たり、日頃感じていることを述べたいと思います。

食の安全を農薬の切り口で見ると、行政機関、農薬メーカー、流通業者、使用者の 4 者が、それぞれの立場で与えられた役割（行政機関：農薬の安全性の客観的評価、農薬メーカー：より安全で効果的な農薬の開発、流通業者：農薬の適切な流通及び使用者へのアドバイス、使用者：農薬ラベルに基づく適切な使用および周辺への配慮）を果たしていくことが重要となります。この連鎖の一部が断ち切られれば、食の安全確保に懸念が生じることとなります。

農薬の適正使用については、関係者の皆様にそれぞれの立場でご活動いただいているところではありますが、不注意により間違った農薬使用（適用作物、適用病害虫、希釈濃度等を誤って使用）を行うといった人為的なミスが原因で、例えば残留基準値を超過したこと、丹精を込めた農産物を回収・廃棄せざるをえなくなるといった経済的損失およびそれに伴う社会的信用の失墜や、周辺の人々に影響を及ぼしてしまうといった事案が一掃されるには至っていません。

農薬は、関係行政機関による安全性評価がなされ、その結果に基づいて登録されているものですが、使い方を誤ると問題を生じさせる可能性があります。一般に農薬使用者が最も影響を受けることから、必要な防護装備を着用したうえで、基本に忠実に農薬の適正使用を行うことが必要です。これまで使ってきたからとか、よくわかっているからと過信することなく、気持ちを新たに農薬ラベルの確認を行うことが重要と考えます。さらに、防護装備を着用していない周辺の方々が不必要に農薬に暴露されることがないように配慮することも忘れてはなりません。

また、住宅地などの周辺では、混住化の進行に伴い、農地と住宅地の近接化が進むとともに、街路樹や公園等、農地以外でも病害虫の防除を行う場面が増えるなど、農薬使用について注意を要する場面が増大しています。このため、住宅地など公共施設や住宅地に近接した農地などで農薬を使用する際には、物理的な防除方法を優先的に検討すること、農薬を使用するときも散布以外の防除を検討すること、飛散を最小限にとどめる散布方法を工夫すること、周辺住民への事前周知、散布時の風向きや風の強さの確認、散布後の立入規制等の工夫を

凝らしていただくことが、地域内で無用なトラブルを防止し、農産物の生産や外構樹木の保護を効率的に続けていくためにも重要と考えています。

リーマン・ショック以降、農業そのものや、家庭菜園などに対する関心度合いが一段と高まっています。自家用を含め新たに農産物の生産に取り組まれる方々の多くは、当該地域の気象や土壌条件、病害虫の発生パターン等を熟知されておられず、不必要に農薬を使用している場合も考えられます。そういった方々に対して、農薬ラベルを確認したうえで、適切に使用するよう、幅広く指導していくことも重要と考えます。

これまで農薬を使用していなかった方々に対する指導は、その対象者が十分に把握できていないことも考えられるため、従前の取り組みでは間に合わないことも考えられます。農薬を使用するご本人やその周辺の方々の健康を考えれば、適正使用に関した指導を適宜実施していくことが重要と考えます。

農薬使用に関する事故も依然として生じています。誤使用以外にも、保管・管理を適切に行っていれば防止できたものが多いという状況になっています。毒物および劇物取締法により、毒物・劇物に指定された農薬を専用の保管庫に施錠保管するのは当然ですが、毒・劇物に該当しない農薬であっても、本来の目的以外で農薬を悪用されることのないよう、使用しないときには施錠保管するとともに、誤飲による事故を防ぐためにも飲食容器への小分けなどを厳に慎み、子供などが簡単に手にすることのないように管理していくことが必要と考えています。

農薬使用を中心に私の思いを綴ってまいりましたが、食の安全を確保しつつ、安全で効果的な農薬をできる限り迅速に供給できるように、農薬登録制度に関して、現在、関係者が意見・情報の交換を行う場を通じて、国際基準との調和を図っていくための検討を行っているところです。検討に当たっては、国際機関等で策定される基準などを注視しつつ、我が国における優先順位を勘案したうえで、国内における農薬登録に必要なデータの整備を進めることが重要と考えております。

食の安全などの確保に必要な農薬に関する課題は多いものの、農薬の生産、流通、適正使用指導等にかかわる方々の声も幅広くお聞きしながら、一つずつ地道に解決していくことが重要と考えておりますので、皆様方のご協力・ご支援を、本年も何卒よろしくお願い致します。